

「新常用漢字表(仮称)」の音訓に関する意見<字種別>

【全般的なもの】

番号	分類	意見	理由
1	基本(団・個)	音訓の追加も行うべきでない。	外国人, 知的障害者等に困難を与える。
2	総合(団体)	代表的な(もしくは使用頻度の高い)音と訓は原則として両方掲げる方がよい。	なし
3	総合(団体)	音読みだけが採られているものがあるが, 訓読みも採用されてよい。	意味が分かる。
4	総合(団体)	「付」に【「異字同訓」の漢字の用法例】を掲げることには危惧を感じる。どうしても必要ならば, せめて規範性にとらわれることなく, 文章の前後関係の中で弾力的に対応する必要がある旨の注記を。	「漢字表」は意図を越えたところで, 独り歩きし過剰に権威化してゆくきらいがある。
5	総合(個人)	訓読みを採用する。	分かりやすい表現, 漢字学習の面から訓読みの採用が必要。訓読みを仮名書きする抵抗感は低いので, 出現頻度が低いと考えられるので, 頻度を過大視すべきでない。
6	その他	「臭う」と「匂う」, 「張る」と「貼る」などの異字同訓が増えている。	どの字を使うべきか判断に時間が必要で能率が落ちる。
7	音訓	同音異義語の問題を解決するために漢字を減らし, 耳で聞いて分かることばに改める。	世界の人々に日本語・日本文化を開放していく必要がある。
8	総合(メール)	音訓は基本となるものに限定し, 連濁, 音便, 母音交替などによる変異形や「特別なもの」などは備考欄において, 語例に即して記述する。	音訓欄と備考欄の明確な原則を設ける。
9	総合(メール)	訓読みが少なすぎる。	音と訓と両方入れるのを基本とし, 同じ読みでも漢字によるニュアンスが違い, 漢字の方が読みやすい。
10	総合(メール)	同音異義語は残すべき。	負担は大きくなるが, 誤解なく意味が通じること, 日本語の豊かさの一つであることから。
11	総合(メール)	同音異義語, 同字異音は必要以上に増やさない。	一つの漢字に複数の音訓があつたり, 同音と字が異なつたりすると, 児童・生徒や非日本語話者に大きな負担となる。

【個別的なもの・追加希望】

番号	分類	漢字	音訓	区分	理由
23	総合 (メール)	敢	あえて	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合 (メール)	敢	あえて	常用	なし
28	総合 (メール)	敢	あえて	常用	なし
27	総合 (メール)	荒	すさぶ/すさむ	常用	「吹き荒ぶ・荒んだ生活」で使用。
21	総合 (メール)	哀	かなしい	常用	音訓両方入れるのを基本に。
17	字種	愛	いとしい・いとおしい	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
23	総合 (メール)	愛	まな	常用	「愛弟子」「愛娘」で使用。
26	総合 (メール)	愛	いとしい	常用	なし
26	総合 (メール)	愛	めでる	常用	なし
27	総合 (メール)	愛	いとしい	常用	なし
27	総合 (メール)	愛	まな	常用	「愛娘」「愛弟子」で使用。
27	総合 (メール)	愛	めでる	常用	なし
28	総合 (メール)	愛	いとしい	常用	なし
5	総合 (個人)	崇	あがめる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合 (個人)	崇	あがめる	常用	(不明)
14	音訓	崇	あがめる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字教を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	崇	あがめる	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合 (メール)	崇	あがめる	常用	なし
28	総合 (メール)	崇	あがめる	常用	なし
1	総合 (団体)	証	あかす	常用	新聞常用
5	総合 (個人)	証	あかし・あかす	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	証	あかし	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字教を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	証	あかし	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	証	あかし	常用	ネットでの用例少くない。
26	総合 (メール)	証	あかし	常用	なし
27	総合 (メール)	証	あかし	常用	なし
7	総合 (個人)	威	をどす	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	明	ミン	常用	「明朝体」で使用。
28	総合 (メール)	明	ミン	常用	「明朝体」で使用。
17	字種	悪	あし	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
21	総合 (メール)	悪	あし	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	悪	あし	常用	「良し悪し」「悪しき…」で使用。
27	総合 (メール)	悪	あし	常用	「良し悪し」「悪しからず」で使用。
28	総合 (メール)	悪	あし	常用	「善し悪し」「悪しき」で使用。
27	総合 (メール)	頭	こうべ	常用	なし
5	総合 (個人)	彩	あや	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
27	総合 (メール)	易	やすい	常用	「…し易い」で使用、「難しい」はある。
28	総合 (メール)	易	やすい	常用	なし
7	総合 (個人)	緯	よこいと	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
7	総合 (個人)	遺	のこす	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	遺	のこす/のこる	常用	「後世に伝える」意で使用。
28	総合 (メール)	射	さす	常用	なし
5	総合 (個人)	癒*	いえる・いやす	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
27	総合 (メール)	家	うち	常用	なし
7	総合 (個人)	到	いたる	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
9	総合 (個人)	逸	そらす	常用	訓読みを採用すべき。

14	音訓	逸	はぐれる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
26	総合（メール）	逸	それる	常用	なし
27	総合（メール）	逸	それる／そらす	常用	なし
27	総合（メール）	否	いや	常用	「否応無し」で使用。
29	総合（メール）	印	しるす	常用	訓「しるし」の上行に「しるす」を追加し、用例に「印す」を示す。「記す」と区別して書ける方が良く、国語辞典でも「記す」と「印す」は別項。
23	総合（メール）	因	ちなむ	常用	Googleでも漢字表記が少ない。
26	総合（メール）	因	とらわれる	常用	なし
28	総合（メール）	因	ちなみに／ちなむ	常用	なし
26	総合（メール）	浮	うわつく	常用	なし
17	字種	疑	うたぐる	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
5	総合（個人）	旨	うまい	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
23	総合（メール）	旨	うまい	常用	Googleでも漢字表記が少ない。
26	総合（メール）	旨	うまい	常用	なし
27	総合（メール）	旨	うまい	常用	なし
28	総合（メール）	馬	マ	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
1	総合（団体）	描	かく	常用	新聞常用
5	総合（個人）	描	かく	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
19	総合（メール）	描	かく	常用	大抵の人が「絵を描く」と表記し、「絵を書く」は不自然。
23	総合（メール）	描	かく	常用	ネット上では「書く」と区別している用例が少ない。
25	総合（メール）	描	かく	常用	一般の使用実態をより積極的に評価すべき。
26	総合（メール）	描	かく	常用	なし
27	総合（メール）	描	かく	常用	「油絵を描く」で使用、「図・絵をかく」意で使用する場合のみ。
29	総合（メール）	描	かく	常用	「えがく」の下に「かく」を追加し、用例に「描く」を示し、備考欄に「台書く」と示す。ネットで「絵をかく」は「画く」より「描く」が多く、「絵を書く」「絵を描く（えがく）」には違和感を持つ人が多い。「絵を描く（かく）」「絵描きさん」「お絵描き」など自然な表記が可能に。
29	総合（メール）	関	けみする	常用	用例に「関する」を示す。「エツする」とも読めるので、あえて「けみする」も認め、両方の読み方があることに注意を向け、誤読回避のためにはルビを使う動機付けに。「嫁する」よりも一般に使われよう。
17	字種	宴	うたげ	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
21	総合（メール）	宴	うたげ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合（メール）	宴	うたげ	常用	ネットでの用例が少ない。
26	総合（メール）	宴	うたげ	常用	なし
27	総合（メール）	宴	うたげ	常用	なし
27	総合（メール）	縁	へり	常用	なし
5	総合（個人）	往	ゆく	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
7	総合（個人）	往	ゆく	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
26	総合（メール）	扇	あおる	常用	なし（←煽）
27	総合（メール）	扇	あおぐ	常用	「仰ぐ」との使い分け可。
5	総合（個人）	翁	おきな	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
27	総合（メール）	翁	おきな	常用	なし
18	総合（メール）	虞	グ	常用	「虞美人草」「虞犯」「不虞」で使われることがほとんど。

23	総合 (メール)	虞	グ	常用	「虞美人草」「虞犯少年」で使用。
28	総合 (メール)	乙	おと	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
7	総合 (個人)	臣	おみ	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	思	おぼしい	常用	なし
26	総合 (メール)	温	ぬくもり	常用	なし
27	総合 (メール)	温	ぬくもる	常用	「(心の)温もり」で使用。
3	総合 (団体)	御	オ/ミ	常用	一般化している
27	総合 (メール)	御	お/み	常用	接頭辞として使用。
28	総合 (メール)	御	み	常用	「御影石」で使用。
29	総合 (メール)	御	み	常用	用例に「御代、御影石」を示す。「政(まつりごと)、天(あめ)、陵(みささぎ)」の訓がある。
21	総合 (メール)	画	かく	常用	音訓両方入れるのを基本に。
5	総合 (個人)	雅	みやび	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合 (個人)	雅	みやび	常用	(不明)
7	総合 (個人)	雅	みやびやか	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
21	総合 (メール)	雅	みやび	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	雅	みやび	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合 (メール)	雅	みやび/みやびやか	常用	なし
7	総合 (個人)	解	わかる	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
23	総合 (メール)	壊	エ	常用	「壊死」で使用。
26	総合 (メール)	壊	エ	常用	なし
27	総合 (メール)	壊	エ	常用	「壊死」で使用。
28	総合 (メール)	壊	エ	常用	「壊死」で使用。
29	総合 (メール)	壊	エ	常用	音「カイ」の下行に「エ」を追加し、用例に「壊死」又は「壊死、不壊」を示す。「壊死」は一般社会でも耳にし、生命に切実にかかわる常識的な言葉である。
23	総合 (メール)	怪	ケ	常用	「怪我」「物の怪」で使用。
27	総合 (メール)	怪	ケ	常用	「怪我」で使用。
28	総合 (メール)	怪	ケ	常用	「怪我」で使用。
16	字種	害	そこなう	常用	「障害」「障碍」。
5	総合 (個人)	概	おおむね	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
21	総合 (メール)	概	おおむね	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	概	おおむね	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合 (メール)	概	おおむね	常用	なし
28	総合 (メール)	概	おおむね	常用	なし
5	総合 (個人)	拘	こだわる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
9	総合 (個人)	拘	こだわる	常用	訓読みを採用すべき。
27	総合 (メール)	拘	こだわる	常用	なし
5	総合 (個人)	鑑	かがみ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	鑑	かがみる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	鑑	かがみ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	鑑	かがみ	常用	「鏡」は姿見、「鑑」は模範。
23	総合 (メール)	鑑	かがみる	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
25	総合 (メール)	鑑	かがみる	常用	主たる意味を表す訓であり、広く一般にも用いられている。
26	総合 (メール)	鑑	かがみ	常用	なし
26	総合 (メール)	鑑	かがみる	常用	なし
27	総合 (メール)	鑑	かがみ	常用	「手本・模範」意で使用。
27	総合 (メール)	鑑	かがみる	常用	なし
28	総合 (メール)	鑑	かがみる	常用	なし

29	総合 (メール)	鑑	かがみ	常用	用例として「鑑、…の鑑」を示し、備考欄に「↔鏡」を示す。改まった文章で「…にかんがみて」「○○のかがみ」は好んで使われる。漢字表記の方が重々しさを伝えられ、間延び感がなく、公用文でも重宝がられる。「鏡」と「鑑」の意味の違いも使用しやすくなる。
29	総合 (メール)	鑑	かんがみる	常用	用例として「鑑みる」を示す。改まった文章で「…にかんがみて」「○○のかがみ」は好んで使われる。漢字表記の方が重々しさを伝えられ、間延び感がなく、公用文でも重宝がられる。「鏡」と「鑑」の意味の違いも使用しやすくなる。
23	総合 (メール)	隠	オン	常用	「隠密」で使用。
28	総合 (メール)	隠	オン	常用	「隠密」で使用。
29	総合 (メール)	隠	オン	常用	音「イン」の下行に1字下げで「オン」を追加し、用例に「隠密」を示す。「隠密行動」「隠密裏」などの表記がルビなしで可能、毎日新聞用語集で「隠密」はルビなし。
5	総合 (個人)	括	くくる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	括	くくる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	括	くくる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	括	くくる	常用	「一括り」で使用。
28	総合 (メール)	括	くくる	常用	なし
29	総合 (メール)	括	くくる	常用	用例に「括る、一括り」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
21	総合 (メール)	活	いきる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	活	いかす/いきる	常用	「生」は命の保ち、「活」は活用、有効。
26	総合 (メール)	活	いかす	常用	なし
27	総合 (メール)	活	いきる/いかす	常用	「活用する」意で使用。
28	総合 (メール)	活	いかす/いきる	常用	なし
5	総合 (個人)	辛	つらい	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
17	字種	辛	つらい	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
23	総合 (メール)	辛	つらい	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合 (メール)	辛	つらい	常用	「からい」との判別は文脈で可。
28	総合 (メール)	辛	つらい	常用	「からい」との判別は文脈で可。
29	総合 (メール)	勘	タン	常用	「カン」の用例「堪能」を削除して、「タン」を1字下げで立て用例に「堪能」、備考欄に「「タン」は慣用音。」とする。「カンノウ」と言っても通じない。「耗(モウ)」「緒(チョ)」の扱いにそろえる。NHK発音アクセント辞典には「タンノウ」のみ、毎日新聞用語集でも「タンノウ」のみ。
14	音訓	喚	わめく	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	喚	わめく	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合 (メール)	喚	わめく	常用	なし
9	総合 (個人)	寛	くつろぐ	常用	訓読みを採用すべき。
27	総合 (メール)	寛	くつろぐ	常用	なし
29	総合 (メール)	憾	うらむ	常用	用例に「憾む、憾み」を示し、備考欄に「↔恨む」と示す。「憾む」と「恨む」の意味の違いを指導しやすくなる。

21	総合 (メール)	棺	ひつぎ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	棺	ひつぎ	常用	ネットでの用例少くない。
26	総合 (メール)	棺	ひつぎ	常用	なし
27	総合 (メール)	棺	ひつぎ	常用	なし
21	総合 (メール)	歛	よるこぶ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
21	総合 (メール)	環	わ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
21	総合 (メール)	看	みる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	看	みる	常用	「看取る」で使用、「世話する」意で使用する場合のみ。
5	総合 (個人)	覩	みる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
21	総合 (メール)	覩	みる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	覩	みる	常用	「見物する」意で使用する場合のみ。
21	総合 (メール)	還	かえる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	還	ゲン	常用	「還俗」で使用。
27	総合 (メール)	還	ゲン	常用	「還俗」で使用。
7	総合 (個人)	閑	しづか	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
5	総合 (個人)	頑	かたくな	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
7	総合 (個人)	頑	かたくな	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
14	音訓	頑	かたくな	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
17	字種	頑	かたくな	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
23	総合 (メール)	頑	かたくな	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合 (メール)	頑	かたくな	常用	なし
29	総合 (メール)	頑	かたくな	常用	用例に「頑なだ」を示す。ネット上では、「懇ろだ」を圧倒する使用数。
9	総合 (個人)	企	たくらむ	常用	訓読みを採用すべき。
23	総合 (メール)	企	たくらむ	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合 (メール)	企	たくらむ	常用	なし
17	字種	奇	きしくも	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
27	総合 (メール)	奇	くし	常用	「奇しくも」で使用。
5	総合 (個人)	希	まれ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	希	まれ	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	希	ケ	常用	「希有」で使用。
26	総合 (メール)	希	ケ	常用	なし (←稀)
26	総合 (メール)	希	まれ	常用	なし (←稀)
27	総合 (メール)	希	ケ	常用	「希有」で使用。
29	総合 (メール)	希	ケ	常用	音「キ」の下に「ケ」を1字下げで追加し、用例に「希有」を示す。「稀有」の代用字として「希有」は広く定着。「回 (エ), 勤 (ゴン), 庫 (ク)」よりも一般に有用。
27	総合 (メール)	戯	ゲ	常用	「戯作」で使用。
7	総合 (個人)	后	きさき	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	后	きさき	常用	「妃」は天皇・王の正室、「后」は天皇・王の側室、皇太子、王子の妻。
5	総合 (個人)	妃	きさき	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	妃	きさき	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	妃	きさき	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	妃	きさき	常用	「妃」は天皇・王の正室、「后」は天皇・王の側室、皇太子、王子の妻。

27	総合 (メール)	脚	カク	常用	「脚気」で使用。
27	総合 (メール)	逆	ゲキ	常用	「逆鱗」で使用。
28	総合 (メール)	逆	ゲキ	常用	「逆鱗」で使用。
23	総合 (メール)	急	せかす/せく	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合 (メール)	急	せく/せかす	常用	「急いては事を仕損じる」を多用。
29	総合 (メール)	求	グ	常用	音「キュウ」の下に「グ」を1字下げで追加し、用例に「求道」を示し、備考欄に「「グドウ」は「キュウドウ」とも。」と示す。「六根清浄」や「煩惱」の例もある。
28	総合 (メール)	居	コ	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
21	総合 (メール)	拠	よる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	拳	こぞる	常用	「拳って」で使用。
14	音訓	虚	うつろ・むなしい	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
17	字種	虚	うつろ	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
27	総合 (メール)	虚	うつろ	常用	なし
27	総合 (メール)	虚	むなしい	常用	「実質や内容が無い」意で使用。
21	総合 (メール)	許	もと	常用	音訓両方入れるのを基本に。
5	総合 (個人)	距	へだたる・へだてる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
23	総合 (メール)	京	キン	常用	「南京錠」で使用。
23	総合 (メール)	強	こわい	常用	「手強い」はGoogleでも漢字表記少くない。
7	総合 (個人)	経	たていと	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
23	総合 (メール)	経	たつ	常用	時間の経過
27	総合 (メール)	経	たつ	常用	「時間が過ぎる」意で使用。
28	総合 (メール)	経	たつ	常用	なし
27	総合 (メール)	局	つぼね	常用	なし
27	総合 (メール)	曲	くせもの	常用	「曲者」で使用。
27	総合 (メール)	極	きめる	常用	「月極め」で使用、一字下げ扱い。
5	総合 (個人)	均	ならず	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
27	総合 (メール)	均	ならず	常用	なし
29	総合 (メール)	均	ならず	常用	用例に「均す」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数であり、「鳴らす、慣らす」と同訓異字。
8	総合 (個人)	腐	くさす	常用	辞典の中には表内扱いもある
5	総合 (個人)	屈	かがむ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	屈	かがむ	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	屈	かがむ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	屈	かがむ/かがめる	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合 (メール)	屈	かがまる/かがむ/かがめる	常用	なし
29	総合 (メール)	屈	かがむ/かがめる	常用	用例に「屈む、前屈み」「屈める」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
27	総合 (メール)	傾	かしぐ/かしげる	常用	「首を傾げる」で多用。
7	総合 (個人)	徑	こみち	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	慶	よろこぶ	常用	「めでたいことをよろこぶ」意で使用、「お慶び申し上げます」で多用。
27	総合 (メール)	敬	キョウ	常用	「愛敬」で使用。
19	総合 (メール)	系	つなぐ	常用	「繋ぐ」の使用が増えているので、表内字のどれかには「つなぐ」を加えたい。
26	総合 (メール)	系	つなぐ	常用	なし (←繋)

27	総合 (メール)	継	まま	常用	「継母」「継子」で使用。
27	総合 (メール)	削	そがれる / そげる / そぐ	常用	なし
27	総合 (メール)	煙	けむ	常用	「煙に巻く」で使用。
14	音訓	謙	へりくだる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
27	総合 (メール)	遣	やる	常用	なし
5	総合 (個人)	個	カ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
26	総合 (メール)	個	コ	常用	なし (←箇を字種削除)
27	総合 (メール)	子	ね	常用	十二支の音訓。
27	総合 (メール)	午	うまい	常用	十二支の音訓。
23	総合 (メール)	公	ク	常用	「公家」で使用。
27	総合 (メール)	公	ク	常用	「公家」で使用。
23	総合 (メール)	抗	あらがう	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合 (メール)	抗	あらがう	常用	なし
29	総合 (メール)	抗	あらがう	常用	用例に「抗う」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
5	総合 (個人)	購	あがなう	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに。
29	総合 (メール)	購	あがなう	常用	用例に「購う」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
27	総合 (メール)	降	くだる / くだす	常用	「地位を下げる、敵を降参させる」意で使用。
21	総合 (メール)	郷	さと	常用	音訓両方入れるのを基本に。
3	総合 (団体)	酷	むごい、きびしい	常用	意味が分かる
5	総合 (個人)	酷	ひどい	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	酷	むごい	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	酷	ひどい	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合 (メール)	酷	ひどい	常用	なし
23	総合 (メール)	衣	エ	常用	「作務衣」「衣紋」で使用。
27	総合 (メール)	衣	きぬ	常用	「濡れ衣」「菌に衣着せぬ」で使用。
27	総合 (メール)	最	も	常用	「最早、最寄り、最中」で使用 (「最寄り」を付表から削除可に)。
28	総合 (メール)	最	も	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
5	総合 (個人)	歳	とし	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
8	総合 (個人)	歳	とし	常用	年齢・高齢の意味に限定して「年」と使い分ける。語例「歳をとる」、備考欄に「⇄年」
21	総合 (メール)	歳	とし	常用	音訓両方入れるのを基本に。
26	総合 (メール)	歳	とし	常用	なし
29	総合 (メール)	濟	セイ	常用	音「サイ」の下に「セイ」を追加し、用例に「多士済々」を示し、備考欄に「「齊々」は「サイサイ」とも。」と示す。毎日新聞用語集は「多士済々」をルビなし、「興味津々」の「津」にならう。
27	総合 (メール)	先	まず	常用	なし
23	総合 (メール)	錯	シャク	常用	「介錯」で使用。
23	総合 (メール)	様	ざま	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合 (メール)	参	シン	常用	「人参」で使用。
6	総合 (個人)	暫	しばらく	常用	(不明)
21	総合 (メール)	暫	しばらく	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	暫	しばらく / しばし	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合 (メール)	暫	しばらく / しばし	常用	なし
28	総合 (メール)	暫	しばらく	常用	なし
29	総合 (メール)	暫	しばらく	常用	用例に「暫く」を示す。「暫時」「暫定」の語義の理解がしやすくなり、ネット上では、「且つ」「懇ろ」を圧倒する使用数。

5	総合(個人)	司	つかさ・つかさどる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
8	総合(個人)	司	つかさどる	常用	送り仮名が少ないこともある。語例「司る」
23	総合(メール)	司	つかさどる	常用	Googleでも漢字表記少くない。
29	総合(メール)	司	つかさどる/つかさ	常用	用例に「司る、司」を示す。「天(あめ)、政(まつりごと)」が表内であるのにならう。ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。「司」は和菓子店などの看板でよく目にする。
28	総合(メール)	士	ジ	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
21	総合(メール)	視	みる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
21	総合(メール)	詞	ことば	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合(メール)	詞	ことば	常用	「枕詞」で使用。
29	総合(メール)	字	あざな	常用	用例に「字」を示す。「氏(うじ)、政(まつりごと)、天(あめ)、陵(みささぎ)」が表内であるのにならう。
23	総合(メール)	自	おのずと/おのずから	常用	Googleでも漢字表記少くない。
26	総合(メール)	自	おのずと	常用	なし
27	総合(メール)	自	おのずから/おのずと	常用	なし
5	総合(個人)	潮	うしお	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
27	総合(メール)	繁	しげし	常用	「足繁く」で使用。
17	字種	失	うせる	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
21	総合(メール)	失	うせる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合(メール)	失	うせる	常用	Googleでも漢字表記少くない。
27	総合(メール)	失	うせる	常用	「消え失せる」で使用。
5	総合(個人)	質	ただす	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
9	総合(個人)	質	ただす	常用	訓読みを採用すべき。
17	字種	質	ただす	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
25	総合(メール)	質	ただす	常用	主たる意味を表す訓であり、広く一般にも用いられている。
27	総合(メール)	質	ただす	常用	「問い質す」で使用、「質問して確かめる」意で使用。
29	総合(メール)	質	ただす	常用	用例に「質す、問い質す」を示し、備考欄に「⇨正す」と示す。小1で「正す」を学習する結果、「ただす」に「正」をあてると考え、「真意をただす」「問いただす」などは意味が違うことに気付く契機がなくなっている。国語辞典で「質す」と「正す」は別項。
23	総合(メール)	邪	よこしま	常用	ネットでの用例少くない。
26	総合(メール)	邪	よこしま	常用	なし
27	総合(メール)	邪	よこしま	常用	なし
26	総合(メール)	寿	ことほぐ	常用	なし
27	総合(メール)	寿	ス	常用	「寿司」で使用。
29	総合(メール)	寿	ことほぐ	常用	訓に「ことほぎ」の上の行に「ことほぐ」を追加し、用例に「寿ぐ」を示す。「新春を寿ぎ…」などと書ける方が改まった感じを伝えられ、格調も保たれる。書簡中でルビ付きで使うのは非現実的。
21	総合(メール)	樹	き	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合(メール)	囚	とらわれる	常用	「囚われの身」で使用。
17	字種	臭	におい*	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。「におう」は認めて「におい」はなし。
19	総合(メール)	十	ジュッ	常用	「ジュッと」と書き加えられたことは現実合っていて良い。
23	総合(メール)	柔	やわら	常用	辞書によっては表外訓扱い
27	総合(メール)	重	おもんじる	常用	なし

14	音訓	淑	しとやか	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
26	総合(メール)	出	いでる/いだす	常用	なし
27	総合(メール)	出	いだす	常用	「見出す」で使用。
26	総合(メール)	術	すべ	常用	なし
27	総合(メール)	術	すべ	常用	「成す術」で使用。
23	総合(メール)	瞬	まばたく	常用	ネットでの要諦少なくない。
21	総合(メール)	処	ところ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合(メール)	諸	もろ	常用	「諸刃」「諸手」はGoogleでも漢字表記少なくない。
27	総合(メール)	諸	もろ	常用	「諸々、諸刃の剣」で使用。
28	総合(メール)	諸	もろ	常用	「諸々、諸手」で使用。
27	総合(メール)	徐	おもむろに	常用	なし
21	総合(メール)	除	よける	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合(メール)	除	よける	常用	「厄除け、魔除け」で使用。
26	総合(メール)	如	ごとし	常用	なし
27	総合(メール)	如	ごとし	常用	なし
5	総合(個人)	匠	たくみ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
21	総合(メール)	匠	たくみ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合(メール)	匠	たくみ	常用	「巧み」は技巧、「匠」は職人。
26	総合(メール)	匠	たくみ	常用	なし
27	総合(メール)	匠	たくみ	常用	なし
29	総合(メール)	匠	たくみ	常用	用例に「匠」を示す。「政(まつりごと)、天(あめ)、陵(みささぎ)」が表内なのにならう。テレビ、雑誌でよく目にする。
27	総合(メール)	小	さ	常用	「小夜」で使用。
14	音訓	称	たたえる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合(メール)	称	たたえる	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
26	総合(メール)	称	たたえる	常用	なし
27	総合(メール)	称	たたえる	常用	「贅える」の表記もよい。
5	総合(個人)	衝	つく	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
29	総合(メール)	職	ソク	常用	1字下げで「ソク」を追加し、用例に「有職、有職故実」を示す。「文化の継承」という観点で「有職」は守っていくべきもので、「回(エ)、勤(ゴン)」がある。
23	総合(メール)	浸	つかる/つく	常用	「漬かる」は漬物、「浸かる」は液体に浸かる。
27	総合(メール)	浸	つかる/つける	常用	「漬」は漬物に関するときに使用。
29	総合(メール)	浸	つける/つかる	常用	訓「ひたる」の下の行に「つける」「つかる」を追加し、用例に「浸ける」「浸かる」を示し、備考欄に「⇔漬ける」「漬かる」を示す。現状の「漬ける・漬かる」は漬物を作る意味に限って用いられ、公用文や報道文で漬物作りなどのくらしい言及があるのか疑問。日本語能力出題基準では「つける(付、着、点)」とは別に「つける」があり、第1表記が「浸ける」で、第2表記が「漬ける」、毎日新聞用語集では、「漬ける」と区別して「つける」がある。
21	総合(メール)	乗	すてる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
29	総合(メール)	水	みな	常用	1字下げで「みな」を追加し、用例に「水底、水上、水口」を示す。「火(ほ)」「氷(ひ)」にならう。
14	音訓	濯	すすぐ	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合(メール)	奨	すすめる	常用	音訓両方入れるのを基本に。

7	総合（個人）	普	あまねく	常用	漢字は音と訓があり，両方教えるべき
26	総合（メール）	性	さが	常用	なし
27	総合（メール）	性	さが	常用	なし
23	総合（メール）	生	なる	常用	「成る」はできあがる，「生る」は実ができる。
7	総合（個人）	績	つむぐ	常用	漢字は音と訓があり，両方教えるべき
5	総合（個人）	拙	つたない	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので，音訓はゆるやかに
5	総合（個人）	撰	とる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので，音訓はゆるやかに
21	総合（メール）	撰	とる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
26	総合（メール）	撰	とる	常用	なし
27	総合（メール）	撰	とる	常用	「養分の撰取」意で使用する場合のみ。
28	総合（メール）	撰	とる	常用	なし
27	総合（メール）	潜	くぐる	常用	「潜り戸」で使用，「もぐる」との判別は文脈で可。
27	総合（メール）	選	よる	常用	「選りすぐり，選り好み，選り分け」で使用，「えりすぐり，えりごのみ，えりわけ」とも読む。
23	総合（メール）	漸	ようやく	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合（メール）	漸	ようやく	常用	なし
28	総合（メール）	漸	ようやく	常用	なし
26	総合（メール）	然	しかり	常用	なし
27	総合（メール）	然	しかり	常用	なし
17	字種	疎	おろそか	常用	ワープロによる文章作成の定着，漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
27	総合（メール）	疎	おろそか	常用	なし
27	総合（メール）	疎	まばら	常用	なし
21	総合（メール）	素	もと	常用	音訓両方入れるのを基本に。
26	総合（メール）	素	もと	常用	なし
27	総合（メール）	素	もと	常用	「だしの素，スープの素」で使用，「原料」意で使用する場合のみ。
21	総合（メール）	想	おもう	常用	音訓両方入れるのを基本に。
26	総合（メール）	想	おもう	常用	なし
27	総合（メール）	想	おもう	常用	「亡き友を想う，故郷を想う」で使用，「イメージする，思慕する」意で使用する場合のみ。
27	総合（メール）	早	さ	常用	「早乙女，早わらび」で使用。
28	総合（メール）	早	さ	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
23	総合（メール）	荘	ショウ	常用	「荘園」で使用。
5	総合（個人）	象	かたどる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので，音訓はゆるやかに
8	総合（個人）	側	がわ	常用	独立用法の「がわ」が訓として認められていないと解され，表外訓マークを付す辞典も少なくない。語例「（腕時計の）側」「国民の側」
27	総合（メール）	側	そば	常用	「側用人」で使用。
14	音訓	則	のっとる	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
25	総合（メール）	則	のっとる	常用	主たる意味を表す訓であり，広く一般にも用いられている。
27	総合（メール）	則	のっとる	常用	なし
29	総合（メール）	則	のっとる	常用	用例に「則る」を示す。漢字表記の方が厳正な感じを伝えられ，格調を保てる。公用文の用字として重宝。
21	総合（メール）	即	すなわち	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合（メール）	即	すなわち	常用	なし
28	総合（メール）	即	すなわち	常用	なし
21	総合（メール）	外	と	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合（メール）	外	と	常用	「外様」「外山」で使用。
27	総合（メール）	外	と	常用	「外様」で使用。
27	総合（メール）	空	すく	常用	「減る・暇になる」意で使用。

27	総合 (メール)	空	むなしい	常用	「空っぽ・効果は無い」意で使用。
9	総合 (個人)	堪	こらえる	常用	訓読みを採用すべき。
8	総合 (個人)	他	ほか	常用	語例「他」「その他」、備考欄に「⇨外」
15	字種	他	ほか	常用	(不明)
19	総合 (メール)	他	ほか	常用	「その他」を「そのほか」と読むのが日常的には多い。
21	総合 (メール)	他	ほか	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	他	ほか	常用	「外」は「思いの外」, 「他」はそれ以外の「ほか」。
25	総合 (メール)	他	ほか	常用	一般の使用実態をより積極的に評価すべき。
26	総合 (メール)	他	ほか	常用	なし
27	総合 (メール)	他	ほか	常用	「外」は「ある範囲の外」意で使用, 「他」は「あるものとは別のもの」意で使用。
28	総合 (メール)	他	ほか	常用	「他=ほか」という意識が国民には強い, 「外」は「…のほか」(殊の外, 思いの外) の場合に使用。
29	総合 (メール)	他	ほか	常用	用例に「その他, …他〇名, 他でもない」を示し, 備考欄に「⇨外」を示す。「他(ほか)」の使用頻度は高い。小2の指導では「思いの外」「もっての外」での使用のみ, 「ほか」と「外(ほか)」の書き分けの説明が苦しいのは「他(ほか)」を認めていないからではないか。日本語能力試験出題基準は, 他を第1表記, 外を第2表記としている。
21	総合 (メール)	墮	おちる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	駄	タ	常用	「下駄」「雪駄」で使用。付表に「草履」がある。
27	総合 (メール)	駄	タ	常用	「下駄, 雪駄」で使用
28	総合 (メール)	駄	タ	常用	「下駄, 雪駄」で多用, 「足袋」「草履」はある。
5	総合 (個人)	巧	たくむ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので, 音訓はゆるやかに
8	総合 (個人)	巧	たくむ	常用	「たくみ」とは別の行にする。語例「巧まざる」
27	総合 (メール)	拓	ひらく	常用	「荒野を拓く, 未来を拓く」で使用, 「開拓する」意で使用する場合のみ。
14	音訓	託	ことづかる・ことづける	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
17	字種	猛	たける	常用	ワープロによる文章作成の定着, 漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
5	総合 (個人)	糾	ただす	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので, 音訓はゆるやかに
27	総合 (メール)	達	たち/たし	常用	「友達, 私達, 御用達」で使用(「友達」を付表から削除可)。
28	総合 (メール)	達	たち	常用	「…達」で使用。
28	総合 (メール)	達	たち	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
23	総合 (メール)	達	たち	常用	ネットでの用例少なくない。
5	総合 (個人)	谷	や	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので, 音訓はゆるやかに
21	総合 (メール)	東	つか	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	東	つか	常用	「東の間」で使用。
9	総合 (個人)	賜	たまもの	常用	訓読みを採用すべき。
23	総合 (メール)	為	ため	常用	「為になる」(普通名詞としての使用)で使用。
27	総合 (メール)	為	ため	常用	「…の為」で使用。
28	総合 (メール)	為	ため	常用	「…為, 外為」で使用。
29	総合 (メール)	為	なす	常用	用例に「為す」を示し, 備考欄に「⇨成す」, 「成」のところの備考欄にも「⇨為す」を示す。「成す」と「為す」の違いを指導しやすくする。

23	総合 (メール)	丹	に	常用	「丹塗り」で使用。
27	総合 (メール)	単	ひとえ	常用	「十二単, 単物」で使用。
27	総合 (メール)	端	はな	常用	「初っ端」で使用。
7	総合 (個人)	稚	わかい	常用	漢字は音と訓があり, 両方教えるべき
9	総合 (個人)	注	つぐ	常用	訓読みを採用すべき。
23	総合 (メール)	貯	ためる/たまる	常用	ネットでの用例少くない。
26	総合 (メール)	貯	ためる	常用	なし
27	総合 (メール)	貯	たまる/ためる	常用	「矯める」は「正しく直す」意で使用, 「溜める」は「集めとどめる」意で使用, 「貯める」は「金を蓄える」意で使用。
28	総合 (メール)	貯	ためる/たまる	常用	日常生活で目にする, 「溜」と同訓異字。
26	総合 (メール)	長	おさ	常用	なし
27	総合 (メール)	長	おさ	常用	なし
27	総合 (メール)	長	たける	常用	なし
17	字種	直	じか	常用	ワープロによる文章作成の定着, 漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
17	字種	直	すぐ	常用	ワープロによる文章作成の定着, 漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
23	総合 (メール)	直	じか	常用	「直談判」「直に」で使用。
27	総合 (メール)	直	じか	常用	「直談判」で使用。
27	総合 (メール)	直	ひた	常用	「直向き, 直走る」で使用。
28	総合 (メール)	直	じか	常用	なし
28	総合 (メール)	直	すぐ	常用	「真っ直ぐ」で使用。
27	総合 (メール)	遂	ついに	常用	なし
28	総合 (メール)	遂	ついに	常用	なし
21	総合 (メール)	墜	おちる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
9	総合 (個人)	勤	いそしむ	常用	訓読みを採用すべき。
27	総合 (メール)	勤	いそしむ	常用	なし
5	総合 (個人)	停	とまる・とめる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので, 音訓はゆるやかに
27	総合 (メール)	停	とまる/とめる	常用	「停止する」意で使用する場合のみ。
7	総合 (個人)	貞	さだ	常用	漢字は音と訓があり, 両方教えるべき
7	総合 (個人)	帝	みかど	常用	漢字は音と訓があり, 両方教えるべき
26	総合 (メール)	帝	みかど	常用	なし
27	総合 (メール)	帝	みかど	常用	なし
26	総合 (メール)	提	チョウ	常用	なし
27	総合 (メール)	提	チョウ	常用	「提灯」で使用。
26	総合 (メール)	敵	かなう	常用	なし
27	総合 (メール)	敵	かなう	常用	「匹敵する」意で使用。
26	総合 (メール)	適	かなう	常用	なし
27	総合 (メール)	適	かなう	常用	「当てはまる」意で使用, 「叶」は「望み通り」で使用。
27	総合 (メール)	伝	つて	常用	「人伝」で使用。
28	総合 (メール)	伝	テン	常用	付表を当て字と熟語訓に統一する。
27	総合 (メール)	塗	まみれる	常用	「泥塗れ, 血塗れ」で使用。
7	総合 (個人)	徒	いたづらだ	常用	漢字は音と訓があり, 両方教えるべき
7	総合 (個人)	途	みち	常用	漢字は音と訓があり, 両方教えるべき
23	総合 (メール)	途	ズ	常用	「一途」「三途の川」で使用。
27	総合 (メール)	途	ズ	常用	「一途, 三途の川」で使用。
28	総合 (メール)	途	ズ	常用	「一途, 三途」で使用。
20	総合 (メール)	富	と	常用	「神(か)」「愛(え)」などを認めるならば, 「富山県」の「富(と)」に言及しないのはどうか。
23	総合 (メール)	奴	やつ/やつこ	常用	ネットでの用例少くない。
27	総合 (メール)	奴	やつ/やつこ	常用	「冷奴」で使用。
28	総合 (メール)	奴	やつ	常用	なし
26	総合 (メール)	怒	ヌ	常用	なし
27	総合 (メール)	怒	ヌ	常用	「憤怒」で使用。

29	総合 (メール)	怒	ヌ	常用	音「ド」の下の行に1字下げで「ヌ」を追加し、用例に「憤怒」を示す。毎日新聞用語集で「憤怒」はルビなし。
26	総合 (メール)	凍	いてる	常用	なし
27	総合 (メール)	凍	いてる	常用	「凍て付く」で使用。
29	総合 (メール)	東	あずま	常用	用例に「東男, 東歌, 東屋」を示す。「政 (まつりごと), 天 (あめ), 陵 (みささぎ)」は表内。
21	総合 (メール)	盗	とる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	盗	とる	常用	「財布を盗られる, 物盗りに入られる」で使用, 「盗む」意で使用する場合のみ。
17	字種	灯	あかり	常用	ワープロによる文章作成の定着, 漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
26	総合 (メール)	灯	チン	常用	なし
27	総合 (メール)	灯	チン	常用	「提灯」で使用。
27	総合 (メール)	灯	ともる/ともす	常用	なし
27	総合 (メール)	等	など	常用	「…等」で多用。
28	総合 (メール)	等	など	常用	「等=など」という意識が強くなってきた。
14	音訓	匿	かくまう	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
29	総合 (メール)	匿	かくまう	常用	用例に「匿う」を示す。比較的頻度高く, ネット上では, 「矯める, 唆す, 統べる」を圧倒する使用数。
27	総合 (メール)	殿	しんがり	常用	「との」との判別は文脈で可。
1	総合 (団体)	鶏	とり	常用	新聞常用
17	字種	鶏	とり	常用	ワープロによる文章作成の定着, 漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
21	総合 (メール)	鶏	とり	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	鶏	とり	常用	「鶏肉」「鶏がら」で使用。
27	総合 (メール)	鶏	とり	常用	「鶏肉」「地鶏」で使用。
28	総合 (メール)	鶏	とり	常用	「鶏肉, 若鶏」で使用。
9	総合 (個人)	虜	とりこ	常用	訓読みを採用すべき。
14	音訓	虜	とりこ	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	虜	とりこ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	虜	とりこ	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合 (メール)	虜	とりこ	常用	なし
23	総合 (メール)	苗	ミョウ	常用	「苗字」で使用。Googleでは「名字」よりも多い。
27	総合 (メール)	尚	なお	常用	「尚更」で使用。
21	総合 (メール)	浪	なみ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
28	総合 (メール)	難	にくい	常用	なし
27	総合 (メール)	認	したためる	常用	「みとめる」との判別は文脈で可。
23	総合 (メール)	主	あるじ	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合 (メール)	主	あるじ	常用	「ぬし, おも」との判別は文脈で可。
26	総合 (メール)	退	のく	常用	なし
23	総合 (メール)	刃	ニン	常用	「刃傷」で使用。
27	総合 (メール)	刃	ニン	常用	「刃傷沙汰」で使用。
27	総合 (メール)	刃	やいば	常用	なし
28	総合 (メール)	刃	ニン	常用	「刃傷」で使用。
29	総合 (メール)	刃	ニン	常用	音「ジン」の下に1字下げで「ニン」を追加し, 用例に「刃傷沙汰」を示す。毎日新聞用語集では「刃傷」はルビなし。
23	総合 (メール)	入	ジュ	常用	「入水」で使用。
23	総合 (メール)	輩	やから	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合 (メール)	輩	やから	常用	なし
27	総合 (メール)	発	たつ	常用	「空港を発つ, 故郷を発つ」で使用, 「出発する」意で使用する場合のみ。
27	総合 (メール)	侍	はべる/はべらす	常用	なし

7	総合 (個人)	伴	わかる	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき (「判」の誤りでは?)
21	総合 (メール)	判	わかる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	反	ホ	常用	「反故」で使用。
29	総合 (メール)	犯	ボン	常用	「ハン」の下に「ボン」を追加し、用例に「女犯」を示す。「六根清浄」の「清 (シヨウ) や「煩惱」の「煩 (ボン)」と同質。
27	総合 (メール)	畔	あぜ	常用	「畔道」で使用。
8	総合 (個人)	弾	はじく	常用	「弾く (ひく)」と紛らわしいが、文脈によって伝わる。語例「弾く」
17	字種	弾	はじく・はじける	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
21	総合 (メール)	弾	はじく	常用	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	弾	はじく/はじける	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
9	総合 (個人)	被	かぶる	常用	訓読みを採用すべき。
23	総合 (メール)	被	かぶる/かぶらす	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
27	総合 (メール)	被	かぶる/かぶせる	常用	「頬被り、被り物」で使用、「こうむる」との判別は文脈で可。
28	総合 (メール)	被	かぶる	常用	「こうむる」との判別は文脈で可。
7	総合 (個人)	非	あらず	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	非	あらず	常用	なし
14	音訓	微	かすか	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
27	総合 (メール)	微	かすか	常用	なし
27	総合 (メール)	微	ミ	常用	「微塵」で使用。
28	総合 (メール)	微	ミ	常用	「微塵」で使用。
5	総合 (個人)	美	ミ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
27	総合 (メール)	弾く	はじける/はじく	常用	「ひく」との判別は文脈で可。
28	総合 (メール)	人	と	常用	「助っ人、盗っ人」で使用。
29	総合 (メール)	人	と	常用	訓「ひと」の下に1字下げで「と」を追加し、用例に「助っ人、盗っ人」を示す。「と」を仮名書きすると分かりにくく、毎日新聞用語集では「助っ人、盗っ人」とともにルビなし。
27	総合 (メール)	標	しるべ	常用	「道標」で使用。
23	総合 (メール)	頻	しきる	常用	「降り頻る」「頻りだ」「頻りに」「一頻り」で使用。
27	総合 (メール)	頻	しきりに	常用	なし
27	総合 (メール)	怖	おじる	常用	「物怖じ、怖じ気づく」で使用。
5	総合 (個人)	部	べ	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
21	総合 (メール)	部	べ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	部	べ	常用	「語り部」で使用。
28	総合 (メール)	部	べ	常用	「語り部」で使用。
23	総合 (メール)	仏	フツ	常用	「仏語」「仏訳」で使用。
26	総合 (メール)	仏	フツ	常用	なし
27	総合 (メール)	仏	フツ	常用	「仏語」などフランスに関連するもので多用。
27	総合 (メール)	紛	まがう	常用	「見紛う、紛い物」で使用。
27	総合 (メール)	偏	ひとえに	常用	なし
7	総合 (個人)	遍	あまねく	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
27	総合 (メール)	遍	あまねく	常用	なし
27	総合 (メール)	母	モ	常用	「雲母」で使用。
27	総合 (メール)	望	もち	常用	「望月」で使用。
27	総合 (メール)	膨	ふくらす/ふくらます	常用	「膨らし粉」で使用、「ふくらむ、ふくれる」の自動詞に対する他動詞を。
5	総合 (個人)	撲	なぐる	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
2	総合 (団体)	朴	ほお	常用	植物名・法人名 (朴澤学園)

14	音訓	凹	へこむ	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合（メール）	凹	へこむ	常用	ネットでの用例少なくない。
27	総合（メール）	凹	へこむ/へこます	常用	なし
1	総合（団体）	卷	ケン	常用	新聞常用
23	総合（メール）	卷	ケン	常用	「席卷」「巻積雲」で使用。
26	総合（メール）	卷	ケン	常用	なし（←捲）
27	総合（メール）	卷	ケン	常用	「席卷」で使用。
28	総合（メール）	卷	ケン	常用	「席卷」で使用。
29	総合（メール）	卷	ケン	常用	音「カン」の下に「ケン」を追加し、用例に「席卷」と、「巻雲、巻積雲、巻層雲」のいずれかを示す。毎日新聞用語集ではルビなし。
14	音訓	摩	さする	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
5	総合（個人）	毎	ごと	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
14	音訓	毎	ごと	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
27	総合（メール）	毎	ごと	常用	「…年毎」で多用。
23	総合（メール）	懐	つつましい	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
26	総合（メール）	薪	まさ	常用	なし
27	総合（メール）	薪	まさ	常用	なし
6	総合（個人）	惑	まどわす	常用	（不明）
23	総合（メール）	見	ゲン	常用	「一見」「見参」で使用。
8	総合（個人）	未	いまだ	常用	語例「未だ」「未だに」
27	総合（メール）	未	いまだ	常用	なし
27	総合（メール）	未	ひつじ	常用	十二支の音訓。
29	総合（メール）	店	たな	常用	用例に「店子、店ざらし、大店」を示す。「政（まつりごと）、天（あめ）」、「陵（みささぎ）」は表内。
14	音訓	密	ひそかに	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
27	総合（メール）	密	ひそか	常用	なし
28	総合（メール）	密	ひそか	常用	なし
29	総合（メール）	文	ふ	常用	1字下げに加え、用例に「文机、文箱」を示す。「火（ほ）」「氷（ひ）」と同様に。
21	総合（メール）	眼	め	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合（メール）	雌	めん	常用	「雌鳥」で使用。
23	総合（メール）	滅	メ	常用	「滅入る」で使用。
27	総合（メール）	申	さる	常用	十二支の音訓。
5	総合（個人）	館	やかた	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
5	総合（個人）	邸	やしき	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
8	総合（個人）	破	やぶく・やぶける	常用	辞典で「破く」「破ける」は表内扱い
19	総合（メール）	維	つなぐ	常用	「繋ぐ」の使用が増えているので、表内字のどれかには「つなぐ」を加えたい。
27	総合（メール）	唯	ただ	常用	「唯一つ」で使用。
27	総合（メール）	誘	いざなう	常用	なし
27	総合（メール）	雄	おん	常用	「雄鳥」で使用。
7	総合（個人）	雪	すすぐ	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
29	総合（メール）	雪	そそぐ	常用	訓「ゆき」の下の行に「そそぐ」を追加し、用例に「雪ぐ」を示す。「雪唇」の意を理解する上で必要な知識で、なじみの深い意味のほかにも意外な意味を持っていることを学ばせる代表例。「注ぐ」との使い分け明確。

26	総合 (メール)	赦	ゆるし	常用	なし
27	総合 (メール)	予	あらかじめ	常用	なし
27	総合 (メール)	与	あずかる	常用	なし
27	総合 (メール)	与	くみする	常用	なし
21	総合 (メール)	陽	ひ	常用	音訓両方入れるのを基本に。
7	総合 (個人)	宜	よろしい	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
23	総合 (メール)	宜	よろしい	常用	Googleでも漢字表記少なくない。
26	総合 (メール)	宜	よろしく	常用	なし
27	総合 (メール)	宜	よろしい	常用	「宜しくお願ひします」と文書で多用。
28	総合 (メール)	宜	よろしい	常用	なし
9	総合 (個人)	宣	のたまう	常用	訓読みを採用すべき。
24	総合 (メール)	来	き/こ	常用	「くる」が認められていることで「こ・き・く」も訓に含まれるか不明。
17	字種	絡	からげる	常用	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
19	総合 (メール)	絡	つなぐ	常用	「繋ぐ」の使用が増えているので、表内字のどれかには「つなぐ」を加えたい。
7	総合 (個人)	理	ことわり	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
23	総合 (メール)	理	ことわり	常用	ネットでの用例少なくない。
23	総合 (メール)	律	レツ	常用	「呂律」で使用。
26	総合 (メール)	慮	おもんばかり	常用	なし
27	総合 (メール)	慮	おもんばかり	常用	なし
27	総合 (メール)	漁	あさる	常用	なし
29	総合 (メール)	漁	あさる	常用	用例に「漁る、買い漁る」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
27	総合 (メール)	留	とどまる/とどめる	常用	「とまる、とめる」との判別は文脈で可。
21	総合 (メール)	類	たぐい	常用	音訓両方入れるのを基本に。
26	総合 (メール)	類	たぐい	常用	なし
27	総合 (メール)	類	たぐい	常用	「類まれ」で使用。
28	総合 (メール)	類	たぐい	常用	「類=たぐい」という意識が強くなってきた。
21	総合 (メール)	齡	よわい	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	齡	よわい	常用	なし
5	総合 (個人)	烈	はげしい	常用	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
21	総合 (メール)	路	みち	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	露	あらわ	常用	「つゆ」との判別は文脈で可。
14	音訓	勞	ねぎらう	常用	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
27	総合 (メール)	勞	いたわる	常用	なし
27	総合 (メール)	勞	ねぎらう	常用	なし
21	総合 (メール)	和	あえる	常用	音訓両方入れるのを基本に。
27	総合 (メール)	和	あえる	常用	「和え物」で使用。
23	総合 (メール)	若	ニヤ	常用	「般若」で使用。
27	総合 (メール)	若	ニヤ	常用	「般若」で使用。
29	総合 (メール)	若	ニヤ	常用	1字下げで「ニヤ」を追加し、用例に「般若」を示す。毎日新聞用語集は「般若」をルビなし。(不明)
6	総合 (個人)	禍	わざわい	常用	(不明)
7	総合 (個人)	禍	わざはひ	常用	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
5	総合 (個人)	粹*	いき	常用 (追加)	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
16	字種	碍	さまたげる・ガイ	新規	「障害」「障碍」
5	総合 (個人)	顎	ガク	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	顎	ガク	追加	音訓ともに採用すべき。
13	音訓	顎	ガク	追加	奇抜なあて字読みでない限り、音訓併せて挙げる。

29	総合 (メール)	顎	ガク	追加	用例に「上顎, 下顎」を示す。字種として追加するなら「ガク」も欲しい。一般にも分かる言葉であり、「咽頭」という同種の言葉も用例にある。
5	総合 (個人)	嵐	ラン	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	嵐	ラン	追加	音訓ともに採用すべき。
23	総合 (メール)	嵐	ラン	追加	「青嵐」「晴嵐」で使用。
13	音訓	畏	おそれ	追加	奇抜なあて字読みでない限り、音訓併せて挙げる。
13	音訓	萎	なえ	追加	奇抜なあて字読みでない限り、音訓併せて挙げる。
23	総合 (メール)	萎	しおれる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
9	総合 (個人)	苛	いじめる・さいなむ	追加	訓読みを採用すべき。
13	音訓	苛	いじめ	追加	奇抜なあて字読みでない限り、音訓併せて挙げる。
14	音訓	苛	いじめる・いら	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	苛	いじめる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
23	総合 (メール)	苛	いら	追加	「苛立つ」はGoogleでも漢字表記少なくない。
23	総合 (メール)	苛	さいなむ	追加	ネットでの用例少なくない。
28	総合 (メール)	苛	いら	追加	「苛々, 苛立ち」で使用。
28	総合 (メール)	苛	さいなむ	追加	「苛む, 苛まれる」で使用。
9	総合 (個人)	戴	いただく	追加	訓読みを採用すべき。
10	期間外	戴	いただく	追加	音訓ともに採用すべき。
10	期間外	咽	のど	追加	音訓ともに採用すべき。
10	期間外	罔	コウ	追加	音訓ともに採用すべき。
7	総合 (個人)	傲	おごる	追加	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
14	音訓	傲	おごる	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
10	期間外	惧	おそれる	追加	音訓ともに採用すべき。
9	総合 (個人)	怨	うらむ	追加	訓読みを採用すべき。
13	音訓	怨	うらみ	追加	奇抜なあて字読みでない限り、音訓併せて挙げる。
1	総合 (団体)	籠	かご	追加	
11	音訓	籠	かご	追加	地名や姓で多く使われている。
20	総合 (メール)	籠	こめる	追加	「こもる」を認めるのならば、「こめる」も必要である。
21	総合 (メール)	籠	かご	追加	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	籠	かご	追加	ネットでの用例少なくない。
28	総合 (メール)	籠	かご	追加	「かご」の読みの使用多い。
30	字体	籠	かご	追加	用例に「籠, 花籠」を。
7	総合 (個人)	玩	もてあそぶ	追加	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
5	総合 (個人)	伎	わざ	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
5	総合 (個人)	牙	きば	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	熊	ヒ	追加	音訓ともに採用すべき。
23	総合 (メール)	拳	ゲン	追加	「拳骨」「拳固」で使用。
28	総合 (メール)	拳	ゲン	追加	「拳骨」で使用。
5	総合 (個人)	舷	ふなばた・ふなべり	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
5	総合 (個人)	挫	くじく・くじける	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
9	総合 (個人)	挫	くじく	追加	訓読みを採用すべき。
14	音訓	挫	くじく	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	挫	くじく/くじける	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
26	総合 (メール)	挫	くじく	追加	なし
29	総合 (メール)	挫	くじく/くじける	追加	用例に「挫く, 挫ける」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める, 唆す; 統べる」を圧倒する使用数。

6	総合 (個人)	椎	しい	追加	(不明)
8	総合 (個人)	椎	しい	追加	「椎 (ツイ)」を入れるのであれば、語例「椎の木」
26	総合 (メール)	椎	しい	追加	なし
29	総合 (メール)	椎	しい	追加	用例に「椎の木」を示す。字種として追加するなら「しい」も欲しい。追加候補「藤 (ふじ)」に訓あり、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
10	期間外	鹿	ロク	追加	音訓ともに採用すべき。
3	総合 (団体)	羞	はじらう	追加	意味が分かる
10	期間外	羞	はずかしい	追加	音訓ともに採用すべき。
10	期間外	尻	ヒ	追加	音訓ともに採用すべき。
5	総合 (個人)	凄	すごい	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
9	総合 (個人)	凄	すごい	追加	訓読みを採用すべき。
10	期間外	凄	すごい	追加	音訓ともに採用すべき。
14	音訓	凄	すごむ・すさまじい	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	凄	すごい	追加	音訓両方入れるのを基本に。
21	総合 (メール)	凄	すさまじい	追加	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	凄	すごい/すごむ	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
23	総合 (メール)	凄	すさまじい	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
28	総合 (メール)	凄	すごい	追加	仮名書きの方が多くとも「すごい」全体の頻度が高い中での漢字書きは相当数あると認められる。
29	総合 (メール)	凄	すごい/すごむ	追加	用例に「凄い、凄み」「すごむ」を示す。比較的頻度が高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用例。
5	総合 (個人)	醒	さめる・さます	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	醒	さめる	追加	音訓ともに採用すべき。
26	総合 (メール)	醒	さめる	追加	なし
28	総合 (メール)	醒	さます/さめる	追加	「酔いから醒める」意で使用。
7	総合 (個人)	遜	へりくだる	追加	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
9	総合 (個人)	遜	へりくだる	追加	訓読みを採用すべき。
23	総合 (メール)	遜	へりくだる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
5	総合 (個人)	誰	スイ	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	且	あした	追加	音訓ともに採用すべき。
1	総合 (団体)	綻	ほころびる	追加	
5	総合 (個人)	綻	ほころびる	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合 (個人)	綻	ほころびる	追加	(不明)
9	総合 (個人)	綻	ほころぶ	追加	訓読みを採用すべき。
14	音訓	綻	ほころびる	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
21	総合 (メール)	綻	ほころびる	追加	音訓両方入れるのを基本に。
23	総合 (メール)	綻	ほころぶ/ほころびる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
28	総合 (メール)	綻	ほころびる/ほころぶ	追加	ある程度頻度のある訓は採るべき。
29	総合 (メール)	綻	ほころびる/ほころぶ	追加	用例に「綻びる、綻び」「綻ぶ、綻ばせる」を示す。比較的頻度高く、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
5	総合 (個人)	抄	はかどる	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合 (個人)	抄	はかどる	追加	(不明)
7	総合 (個人)	抄	はかどる	追加	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
9	総合 (個人)	抄	はかどる	追加	訓読みを採用すべき。
14	音訓	抄	はかどる	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合 (メール)	抄	はかどる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。

28	総合（メール）	抄	はかどる	追加	ある程度頻度のある訓は採るべき。
29	総合（メール）	抄	はかどる	追加	用例に「抄る」を示す。字種として追加するのならば欲しい。追加字種でも「妬む、罵る、蔑む、弄ぶ」などが見られ、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する。
5	総合（個人）	潰	つぶす・つぶれる	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
9	総合（個人）	潰	つぶす	追加	訓読みを採用すべき。
10	期間外	潰	つぶす・つぶれる	追加	音訓ともに採用すべき。
14	音訓	潰	つぶす・つぶれる	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
22	総合（メール）	潰	つぶす/つぶれる	追加	なぜ訓が示されていないのか。
23	総合（メール）	潰	ついでる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
23	総合（メール）	潰	つぶす/つぶれる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
28	総合（メール）	潰	つぶす/つぶれる	追加	仮名書きの方が多くとも「つぶす、つぶれる」全体の頻度が高い中での漢字書きは相当数あると認められる。
29	総合（メール）	潰	つぶす/つぶれる	追加	用例に「潰す、塗り潰す」「潰れる」を示す。字種として追加するなら「つぶす/つぶれる」も欲しい。ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
10	期間外	爪	ソウ	追加	音訓ともに採用すべき。
23	総合（メール）	爪	ソウ	追加	「爪牙」で使用。
29	総合（メール）	艶	あでやか	追加	訓「つや」の下行に「つややか」「あでやか」を追加し、用例に「艶やかだ」を共に示す。「つや」を認めていることから「つややか」も漢字表記されるが、「あでやか」とも読めることを示すことで、両方の読み方があることに注意を向け、誤読回避のためにルビを使う動機付けに。「開、後、私、尊」などの複数の訓も同様に運用されている。
29	総合（メール）	艶	つややか	追加	訓「つや」の下行に「つややか」「あでやか」を追加し、用例に「艶やかだ」を共に示す。「つや」を認めていることから「つややか」も漢字表記されるが、「あでやか」とも読めることを示すことで、両方の読み方があることに注意を向け、誤読回避のためにルビを使う動機付けに。「開、後、私、尊」などの複数の訓も同様に運用されている。
5	総合（個人）	鶴	カク	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合（個人）	鶴	かく	追加	(不明)
8	総合（個人）	鶴	カク	追加	語例「鶴首」
23	総合（メール）	鶴	カク	追加	「鶴首」で使用。
29	総合（メール）	鶴	カク	追加	用例に「鶴首」を示す。字種として追加するなら「カク」も欲しい。「井原西鶴」などの人名でも目にする。常識的な音が表示されていないと不自然に映る。用例さえ挙がっていない「浦（ホ）」の例もある。
5	総合（個人）	填	つめる	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	填	つめる	追加	音訓ともに採用すべき。
14	音訓	填	はまる・はめる	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
1	総合（団体）	梨	リ	追加	
8	総合（個人）	梨	リ	追加	語例「梨園」
10	期間外	梨	リ	追加	音訓ともに採用すべき。

23	総合（メール）	梨	リ	追加	「梨園」で使用。
28	総合（メール）	梨	リ	追加	「梨園」で使用。
29	総合（メール）	梨	リ	追加	用例に「梨園」を追加。字種として追加するなら「リ」が欲しい。女性の名に用いられるので、常識的に知られており、ないと不自然に映る。用例なしの「浦（ホ）」も表内。
5	総合（個人）	虹	コウ	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
23	総合（メール）	虹	コウ	追加	「虹彩」で使用。
28	総合（メール）	虹	コウ	追加	「虹彩」で使用。
29	総合（メール）	虹	コウ	追加	用例に「虹彩」を示す。字種として追加するなら「コウ」も欲しい。医師だけが知っている言葉でもなく、追加の「喉」んは「喉頭」の用例あり、「浦」には用例のない「ホ」あり。
1	総合（団体）	捻	ひねる	追加	
5	総合（個人）	捻	ひねる	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合（個人）	捻	ひねる	追加	(不明)
9	総合（個人）	捻	ひねる	追加	訓読みを採用すべき。
10	期間外	捻	ひねる	追加	音訓ともに採用すべき。
14	音訓	捻	ねじる・ひねる	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合（メール）	捻	ひねる	追加	Googleでも漢字表記少なくない。
26	総合（メール）	捻	ひねる	追加	なし
28	総合（メール）	捻	ひねる	追加	なし
29	総合（メール）	捻	ひねる	追加	用例に「捻る」を示す。字種として追加するなら「ひねる」も欲しい。追加の「妬む、罵る、蔑む、弄ぶ」に訓あり、ネット上では、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用数。
6	総合（個人）	貼	てん	追加	(不明)
10	期間外	膝	シツ	追加	音訓ともに採用すべき。
12	音訓	膝	シツ	追加	医療機関で「膝蓋骨」は頻用。「蓋」に「ガイ」を認め、「頭蓋骨」を語例としていることと矛盾。
23	総合（メール）	膝	シツ	追加	「膝下」で使用。
28	総合（メール）	膝	シツ	追加	「膝下」で使用。
29	総合（メール）	膝	シツ	追加	用例に「膝下、膝行、膝蓋骨」を示す。字種として追加するなら「シツ」も欲しい。「咽頭」という同質の用例もある。
22	総合（メール）	拭	シキ	追加	医療・介護用語で「清拭」がある。
28	総合（メール）	拭	シキ	追加	「清拭」で使用。
10	期間外	貌	かたち	追加	音訓ともに採用すべき。
5	総合（個人）	恣	ほしいまま	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
6	総合（個人）	恣	ほしいまま	追加	(不明)
5	総合（個人）	頬	キョウ	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
8	総合（個人）	枕	チン	追加	語例「枕頭」
10	期間外	枕	チン	追加	音訓ともに採用すべき。
6	総合（個人）	斑	まだら	追加	(不明)
14	音訓	斑	まだら	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
23	総合（メール）	斑	まだら	追加	ネットでの用例少なくない。
28	総合（メール）	斑	まだら	追加	なし
29	総合（メール）	斑	まだら	追加	用例に「斑だ、斑模様」を示す。字種として追加するなら「まだら」も欲しい。ネット上で、「矯める、唆す、統べる」を圧倒する使用。
7	総合（個人）	冥	くらい	追加	漢字は音と訓があり、両方教えるべき

8	総合 (個人)	弥	ビ	追加	「ビ 弥縫」とし、「ビ」の備考欄に「弥生」を掲げる。
10	期間外	闇	アン	追加	音訓ともに採用すべき。
6	総合 (個人)	喩	たとえる	追加	(不明)
7	総合 (個人)	喩	たとえる	追加	漢字は音と訓があり、両方教えるべき
10	期間外	喩	たとえ	追加	音訓ともに採用すべき。
9	総合 (個人)	沃	こえる	追加	訓読みを採用すべき。
6	総合 (個人)	慄	おののく	追加	(不明)
14	音訓	慄	おののく	追加	音読みだけでは理解の手掛かり少なく学習上不利。携帯メールで文字数を少なくする上で訓読み有効。
19	総合 (メール)	呂	リョ	追加	中国人の姓として「ロ」でなく、「リョ」である。
5	総合 (個人)	脇	キョウ	追加	音訓がないため口惜しい思いをするので、音訓はゆるやかに
10	期間外	脇	キョウ	追加	音訓ともに採用すべき。
29	総合 (メール)	脇	わけ	追加	1字下げで加え、用例に「関脇」。国技である相撲の力士の位で「関脇」だけ表内で書けず、毎日新聞用語集でルビなし。
6	総合 (個人)	剝	はげる	追加	(不明)
9	総合 (個人)	剝	むく	追加	訓読みを採用すべき。
28	総合 (メール)	剝	むく	追加	なし
29	総合 (メール)	剝	むく/むける	追加	訓「はぐ」の下の行に「むく、むける」を追加し、用例に「剝く、擦り剝く、皮剝き」を示す。字種として追加するなら「むく、むける」も欲しい。追加の「妬む、罵る、蔑む、弄ぶ」は表内、ネット上で「矯める、唆す、蔑む、弄ぶ」を圧倒する
4	総合 (個人)	灰汁	あく	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	灰汁	あく	付表	なし
4	総合 (個人)	明後日	あさって	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	嘲笑う	あざわらう	付表	なし
23	総合 (メール)	飛鳥	あすか	付表	ネットでの用例少くない。時代名。
28	総合 (メール)	飛鳥	あすか	付表	時代名で欠落。
23	総合 (メール)	安土	あづち	付表	ネットでの用例少くない。時代名。
28	総合 (メール)	安土	あづち	付表	時代名で欠落。
23	総合 (メール)	行灯	あんどん	付表	ネットでの用例少くない。
4	総合 (個人)	許嫁	いいなづけ	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	如何	いかん	付表	なし
4	総合 (個人)	悪戯	いたづら	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	従兄弟・従姉妹	いとこ	付表	年齢、性別の違いで「従兄」「従弟」「従姉」「従妹」と書き分ける。
17	字種	稲荷	いなり	付表	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
23	総合 (メール)	今際	いまわ	付表	ネットでの用例少くない。
27	総合 (メール)	団扇	うちわ	付表	なし
28	総合 (メール)	上手い	うまい	付表	日常目にすること増えた。
4	総合 (個人)	干支	えと	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
28	総合 (メール)	干支	えと	付表	なし
27	総合 (メール)	海老	えび	付表	なし
27	総合 (メール)	美味しい	おいしい	付表	なし
27	総合 (メール)	女将	おかみ	付表	なし
28	総合 (メール)	女将	おかみ	付表	なし
23	総合 (メール)	白粉	おしろい	付表	ネットでの用例少くない。

29	総合 (メール)	各々	おのおの	付表	訓「おのおの」と用例を削除し、「カク」の備考欄に「各々 (おのおの)」を示して、付表に追加する。「各 (おのおの)」という表記は現状では行われぬ。日本語能力試験出題基準は「各々」、毎日新聞用語集に「「各」は「おのおの」と読みにくい」とある。
17	字種	お婆さん	おばあさん	付表	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。高齢化社会に対応。
4	総合 (個人)	十八番	おはこ	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
29	総合 (メール)	お披露目	おひろめ	付表	一般の社会生活で頻用。
28	総合 (メール)	親父	おやじ	付表	なし
23	総合 (メール)	垣間見る	かいまみる	付表	ネットでの用例少くない。
4	総合 (個人)	案山子	かかし	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
1	総合 (団体)	語り部	かたりべ	付表	新聞常用
17	字種	彼方	かなた	付表	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
28	総合 (メール)	彼方	かなた	付表	なし
23	総合 (メール)	狩人	かりゆうど	付表	ネットでの用例少くない。
1	総合 (団体)	川面	かわも	付表	新聞常用
23	総合 (メール)	亀甲	きっこう	付表	範囲外かもしれないが、ネットでの用例少くない。
23	総合 (メール)	生粋	きっすい	付表	範囲外かもしれないが、ネットでの用例少くない。
1	総合 (団体)	公家	くげ	付表	新聞常用
4	総合 (個人)	曲者	くせもの	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
23	総合 (メール)	曲者	くせもの	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	今宵	こよい	付表	なし
28	総合 (メール)	御用達	ごようたし	付表	なし
29	総合 (メール)	御用達	ごようたし	付表	テレビや雑誌でよく目にする。
4	総合 (個人)	幸先	さいさき	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
23	総合 (メール)	幸先	さいさき	付表	ネットでの用例少くない。
27	総合 (メール)	幸先	さいさき	付表	なし
28	総合 (メール)	幸先	さいさき	付表	なし
27	総合 (メール)	流石	さすが	付表	なし
28	総合 (メール)	流石	さすが	付表	なし
23	総合 (メール)	白湯	さゆ	付表	ネットでの用例少くない。
17	字種	三途の川	さんずのかわ	付表	ワープロによる文章作成の定着、漢字ブームで漢字表記をもっと多く望んでいる。
23	総合 (メール)	潮騒	しおさい	付表	ネットでの用例少くない。
1	総合 (団体)	老舗	しにせ	付表	新聞常用
23	総合 (メール)	老舗	しにせ	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	老舗	しにせ	付表	なし
29	総合 (メール)	老舗	しにせ	付表	「老」「舗」の備考欄に示し、付表に追加頻りにテレビや出版物で目にし、毎日新聞用語集でルビなし。
28	総合 (メール)	身体	からだ	付表	日常目にするが増えた。
23	総合 (メール)	助っ人	すけっと	付表	ネットでの用例少くない。
23	総合 (メール)	寿司	すし	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	寿司	すし	付表	なし
28	総合 (メール)	生命	いのち	付表	日常目にするが増えた。
4	総合 (個人)	台詞	せりふ	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	台詞	せりふ	付表	なし
29	総合 (メール)	素麺	そうめん	付表	日常生活で目にし、「そう麺」とは書きにくい。

4	総合 (個人)	他所	よそ	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
23	総合 (メール)	殺陣	たて	付表	ネットでの用例少くない。
27	総合 (メール)	煙草	たばこ	付表	なし
23	総合 (メール)	賜物	たまもの	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	賜物	たまもの	付表	なし
4	総合 (個人)	束子	たわし	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
23	総合 (メール)	千歳	ちとせ	付表	ネットでの用例少くない。
27	総合 (メール)	手水	ちようず	付表	なし
29	総合 (メール)	月極	つきぎめ	付表	意外な難読語として知られている。実生活で目にする。「月決め」と抵触せず。
4	総合 (個人)	九十九折り	つづらおり	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	強者	つわもの	付表	なし
29	総合 (メール)	強者	つわもの	付表	付表に「猛者 (もさ)」があり、国語辞典の多くが「つわもの」に「兵」と語義があるだけ。
23	総合 (メール)	手懐ける	てなずける	付表	ネットでの用例少くない。
23	総合 (メール)	点前	てまえ	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	点前	てまえ	付表	なし
23	総合 (メール)	遠退く	とおのく	付表	ネットでの用例少くない。
1	総合 (団体)	外様	とさま	付表	新聞常用
4	総合 (個人)	長閑	のどか	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合 (メール)	亡骸	なきがら	付表	なし
27	総合 (メール)	何故	なぜ	付表	なし
27	総合 (メール)	何卒	なにとぞ	付表	なし
27	総合 (メール)	生業	なりわい	付表	なし
23	総合 (メール)	盗人	ぬすっと	付表	ネットでの用例少くない。
23	総合 (メール)	婆さん	ばあさん	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	婆さん	ばあさん	付表	なし
23	総合 (メール)	博打	ばくち	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	博打	ばくち	付表	なし
27	総合 (メール)	刷毛	はけ	付表	なし
28	総合 (メール)	狭間	はざま	付表	なし
4	総合 (個人)	裸足	はだし	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
28	総合 (メール)	裸足	はだし	付表	なし
27	総合 (メール)	流行る	はやる	付表	なし
17	字種	他人事	ひとごと	付表	「たにんごと」と言う人が少ない。
23	総合 (メール)	一先ず	ひとまず	付表	ネットでの用例少くない。
1	総合 (団体)	吹聴	ふいちょう	付表	新聞常用
23	総合 (メール)	吹聴	ふいちょう	付表	ネットでの用例少くない。
27	総合 (メール)	吹聴	ふいちょう	付表	なし
28	総合 (メール)	吹聴	ふいちょう	付表	なし
27	総合 (メール)	相応しい	ふさわしい	付表	なし
28	総合 (メール)	相応しい	ふさわしい	付表	日常目にするが増えた。
27	総合 (メール)	微笑む	ほほえむ	付表	なし
28	総合 (メール)	微笑む	ほほえむ	付表	なし
27	総合 (メール)	真面目	まじめ	付表	なし
28	総合 (メール)	真面目	まじめ	付表	なし
27	総合 (メール)	真っ直ぐ	まっすぐ	付表	なし
28	総合 (メール)	眼差し	まなざし	付表	なし
27	総合 (メール)	真似	まね	付表	なし
23	総合 (メール)	三十路	みそじ	付表	ネットでの用例少くない。
4	総合 (個人)	南風	はえ	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
23	総合 (メール)	水面	みなも	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	滅入る	めいる	付表	なし
23	総合 (メール)	目配せ	めくばせ	付表	ネットでの用例少くない。
28	総合 (メール)	目論む	もくろむ	付表	なし
23	総合 (メール)	最中	もなか	付表	ネットでの用例少くない。

4	総合（個人）	火傷	やけど	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い
27	総合（メール）	漁火	いさりび	付表	なし
28	総合（メール）	呂律	ろれつ	付表	なし
4	総合（個人）	早生	わせ	付表	組合せによる面白さを期待。日常生活の中で目にしたり、使用したりする機会が多い

【個別的なもの・削除取りやめ希望】

番号	分類	漢字	音訓	区分	理由
1	総合（個人）	疲	つからす	常用	「疲れる」が漢字表記、「疲らす」が仮名表記では不自然

【個別的なもの・削除希望】

番号	分類	漢字	音訓	区分	理由
13	総合（メール）	憇	いこい	常用	「いこう」があるので不要、「誘」「笑」は動詞のみ。
12	総合（メール）	因	よる	常用	なし
15	総合（メール）	因	よる	常用	原因・理由の「よる」は様々な漢字があてられて使い分け困難なので、仮名書きで統一を。
15	総合（メール）	歎	せ	常用	「勺」「夕」と同様ではないか。
2	総合（個人）	浦	ホ	常用	「長汀曲浦」か固有名詞でしか使用しない。
6	字種	浦	ホ	常用	「疲らす」と同様一般的な使用例がない。
13	総合（メール）	浦	ホ	常用	用例が挙がっていない、用例を挙げるなら「曲浦」。
1	総合（個人）	仰	おおせ	常用	なし
15	総合（メール）	価	あたい	常用	価格、値段の意で「価」を用いることはほとんどなく、日本語能力試験出題基準でも「あたい」は「値」のみ。
13	総合（メール）	狩	かり	常用	「かる」があるので不要、「取」「採」は動詞のみ。
15	総合（メール）	懐	なつける	常用	「疲らす」と同様一般的な使用例がない。
15	総合（メール）	各	おのおの	常用	「おのおの」を「各」で表記することはほとんどなく、日本語能力試験出題基準でも「各々」のみ、毎日新聞用語集では「「各」は「おのおの」と読みにくい」とある。（付表に「おのおの 各々」を追加。）
15	総合（メール）	数	ス	常用	中型・大型の国語辞典を除き、現代資料に「人数（にんず）」は出現せず。
1	総合（個人）	神	か	常用	なし
2	総合（個人）	河	かわ	常用	「河原」と固有名詞以外ではほとんど「川」使用
1	総合（個人）	機	はた	常用	なし
12	総合（メール）	矯	ためる	常用	なし
13	総合（メール）	答	こたえ	常用	「こたえる」があるので不要。
1	総合（個人）	児	ご	常用	なし
1	総合（個人）	滋	し	常用	なし
1	総合（個人）	城	き	常用	なし

15	総合（メール）	側	かわ	常用	「かわ」を削除して、「がわ」にし、備考欄に「「がわ」は「かわ」とも。」と示す。単独名詞も「がわ」（「国民の側」など）が標準的で、「かわ」は古風、促音に続く「かわ」（「左っ側」など）は俗っぽい言い方。分類語彙表（増補補訂版）は「がわ」のみ、NHK発音アクセント辞典は「がわ」のみ、「新教育基本語彙」は「がわ」のみ、国語辞典の「かわ」は空見出しか項なし、日本語能力試験出題基準は「がわ」のみ。
15	総合（メール）	懲	こらす	常用	「懲らす」は古い言い方で、国語辞典、NHK発音アクセント辞典以外の現代資料になし。
15	総合（メール）	敗	やぶれる	常用	「敗れる」を認めると「敗る」も認めなければならず、「（敵を）打ち破る」などの複合語も「（門を）打ち破る」などと区別して「打ち敗る」と書かないといけなくなり、「打破」「撃破」との連関も失われる。
12	総合（メール）	火	ほ	常用	なし
1	総合（個人）	分	いた	常用	なし
12	総合（メール）	程	ほど	常用	なし
1	総合（個人）	棟	むな	常用	なし
15	総合（メール）	燃	もす	常用	「燃す」は古い言い方で、「燃やす」が示されていればいい。
1	総合（個人）	逝	いく	常用	なし
11	総合（メール）	育	はぐくむ	常用（追加）	「そだつ」「そだてる」という語幹共通の1組に訓を限った方が読み方の判別容易で仮名書きで不便なし。
11	総合（メール）	関	かかわる	常用（追加）	同訓異字「拘わる」「係わる」（ともに表外訓）があり、使い分けの判断が困難。
9	総合（メール）	混	こむ	常用（追加）	違和感がある。
4	音訓	児	ご	常用（追加）	「こ」の連濁とすればいい。漢検では「児」の表外読みとして「こ」を挙げている
11	総合（メール）	臭	におい	常用（追加）	文脈から「くさい」か「におい」か判別しなければならず、瞬時に読み方が分からない。
16	字体	臭	におい	常用（追加）	「臭い臭い」もOKとなりかえって混乱する。「臭い」と「匂い」の書き分け用例をたくさん挙げたハンドブックが必要。
2	総合（個人）	中	ジュウ	常用（追加）	これだけ連濁の表記を掲げるのはおかし（「通」には挙がってない）
4	音訓	中	ジュウ	常用（追加）	「稱表」「融通」にも影響が出て、際限なくなり、混乱する。現代仮名遣いの許容のままでもいい。
7	総合（メール）	中	ジュウ	常用（追加）	「融通」の「ズウ」を認めず、不統一である。
8	総合（メール）	中	ジュウ	常用（追加）	「通」に「ズウ」を、「妻」に「ずま」に追加しないと統一されない。
2	総合（個人）	分	いた	常用（追加）	訓は和語（の接辞）や訓仮名の場合に限定すべきで、「ブン」の備考欄に「大分県」を掲げ、付表に「おおいた 大分」を追加する。
4	音訓	分	いた	常用（追加）	強引すぎる。付表でよい。
11	総合（メール）	逝	いく	常用（追加）	振り仮名がなければ「いく」か「ゆく」か判別できず、不便。
3	その他	私	わたし・わたくし	常用（追加）	どちらで読むか分からなくなる
10	総合（メール）	私	わたし	常用（追加）	「わたし」を入れると「目安」の意味がなくなる。
11	総合（メール）	私	わたし	常用（追加）	振り仮名がなければ「わたし」か「わたくし」か判別できず、不便。

2	総合(個人)	嘲	あざける	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい
2	総合(個人)	畏	おそれる	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい。異字同訓の使い分けは分かりにくい
2	総合(個人)	萎	なえる	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい
2	総合(個人)	淫	みだら	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいいルビ付きでいい
5	字種	媛	エン	追加	不適當。人名で使われる心配。
2	総合(個人)	憧	ショウ	追加	「憧憬」は日常語でない。
2	総合(個人)	罵	ののしる	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいいルビ付きでいい
2	総合(個人)	憚	はばかり	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいいルビ付きでいい
2	総合(個人)	拭	ぬぐう	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい
2	総合(個人)	塞	ふさぐ・ふさがる	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいいルビ付きでいい
2	総合(個人)	蔑	さげすむ	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい
2	総合(個人)	貪	むさぼる	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい
2	総合(個人)	弄	もてあそぶ	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいいルビ付きでいい
5	字種	弄	もてあそぶ	追加	不適當。人名で使われる心配。
2	総合(個人)	弥	や	追加	「ビ 弥縫」を追加し、「弥生」は「ビ」の備考欄に掲げる。
5	字種	妖	あやしい	追加	不適當。人名で使われる心配。
2	総合(個人)	僅	わずか	追加	読むのが難しく、仮名書きかルビ付きでいい
14	総合(メール)	笑顔	えがお	付表	音訓の読みで対応可。
14	総合(メール)	仮名	かな	付表	音訓の読みで対応可。
14	総合(メール)	教奇屋	すきや	付表	音訓の読みで対応可。
14	総合(メール)	教奇屋	すきや	付表	音訓の読みで対応可。
14	総合(メール)	波止場	はとば	付表	音訓の読みで対応可。

【個別的なもの・音訓の表示方法変更希望】

番号	分類	漢字	音訓	区分	意見・理由
2	総合(個人)	昭	ショウ	常用	語例がないと使い方不明。語例に「昭和」。
9	総合(メール)	言	いう	常用	備考欄に「言う」は「ゆう」とも発音される。」と示す。「行く」が「いく」「ゆく」を認めているのに合わせる。
2	総合(個人)	畝	せ	常用	語例がないと使い方不明。語例に「一畝」を挙げる。
9	総合(メール)	憂	うい	常用	用例の「憂い」を削除して、「物憂い」「憂き目」のみにする。「憂い」は古い言い方で、「生う」「揺る」「隣る」「恋う」はなく、国語辞典を除いた現代資料になし。
9	総合(メール)	弟	ダイ	常用	備考欄に「兄弟」は「ケイテイ」と読むこともある。」と示す。「兄」の備考欄に合わせる。
4	総合(メール)	神	カン	常用	特殊な音訓は、音訓欄には載せず、備考欄などで処理を。
9	総合(メール)	辛	からい	常用	用例の「辛うじて」を備考欄に移し、「辛うじて」は「かるうじて。」と示す。ウ音便の扱いは難しいので「因縁」などと同じ扱いに。
9	総合(メール)	窮	キユウ	常用	用例の「窮極」を「窮状」に差し替える。「窮極」は「究極」と書かれることが多く、毎日新聞用語集は「究極」のみ、国語辞典は「究極」が第一表記。

2	総合（個人）	京	ケイ	常用	語例欄が空白は分かりにくいので、固有名詞性の強い語例であっても語例に挙げる。備考欄「京浜」「京阪」に「一京」を加えて語例へ。
6	総合（メール）	曲	まがる／まがり	常用	送り仮名を「曲がる」「曲がり」にすべき。（*常用漢字表では「曲がる」となっている。）
9	総合（メール）	験	ゲン	常用	用例の「験がある」を「験がいい」「験を担ぐ」に差し替える。「験がある」は一般に親しみが薄い。
2	総合（個人）	込	こむ	常用	混雑の意味では「混む」が多いので、語例を「手の込んだ」「申し込む」に変更する。
9	総合（メール）	酸	すい	常用	用例「酸い、酸っぱい」を「酸っぱい、甘酸っぱい」に差し替える。「酸い」は西日本方言と「酸いも甘いも」という慣用句で残存、方言主用の語を挙げるのは不适当。日本語能力試験出題基準は「酸い」なし、AT2Kの変換で「すい」に対しては「酸いも甘いも噛み分ける」への変換を促す。
2	総合（個人）	勺	シャク	常用	常用漢字から削除されない場合、語例がないと使い方不明。語例に「一勺」を挙げる。
9	総合（メール）	周	まわり	常用	備考欄「㊦回り」の直上に「身の回り」と示す。「家」の備考欄で「母家（おもや）／㊦屋」としていることと整合性あり、世に定着している「身の回り」が「からだの回転」の意でないことから。
2	総合（個人）	旬	シュン	常用	単独で名詞で使われ、単字ではむしろ漢音「シュン」と読まれる。
2	総合（個人）	升	ショウ	常用	語例がないと使い方不明。語例に「一升」を挙げる。
9	総合（メール）	震	ふるう	常用	用例の「震う、身震い」を「身震い」にみにし、備考欄の「㊦震う、振るう」を削除する。「震う」は古い言い方で国語辞典を除き、現代資料に出現せず。「生う」「揺る」「隣る」「恋う」などの古い言い方を採っていない。
9	総合（メール）	筋	すじ	常用	用例の「筋書」を「筋書き」に改める。送り仮名の付け方の通則7に例示なし、送り仮名省略の慣用度合い低く通例6の「落書き」にならうべき。
9	総合（メール）	全	まったく	常用	用例「全うする」を削除して、備考欄に「全うするは「まっとうする。」と示す。ウ音便の扱いは難しいので、「因縁」などと同じ扱いに。
2	総合（個人）	素	す	常用	「ス」を呉音とすることに疑問を呈する辞典がある。
9	総合（メール）	早	はやい	常用	備考欄に「お早う」は、「おはよう。」と示す。「ありがと」と共に重要なあいさつ語で、ウ音便の好適例。「辛うじて」「全うする」というウ音便もそろえて備考欄に。
9	総合（メール）	速	はやい	常用	備考欄の「㊦早い」の直上に「早足、早口」を示す。「家」の備考欄「母家（おもや）／㊦屋」と整合性あり、「早」と「速」の使い分けに従えば、「速足、速口」になるところ、「異字同訓」の漢字の用法に例示されたことで「早足、早口」が定着。
2	総合（個人）	外	ほか	常用	慣用的な言い回し以外では「他」がよく使われるので、語例を「思いの外」「殊の外」に変更する。備考欄に「㊦他」。

9	総合 (メール)	外	ほか	常用	用例を「外, その外」から「殊の外, 思いの外, もっての外」に変更し, 備考欄に「⇨他」を追加。使用頻度の高い「他 (ほか)」を使用することによる。
2	総合 (個人)	朕	チン	常用	語例がないと使い方不明。語例に「朕」。
9	総合 (メール)	中	チュウ	常用	用例に「心中」を追加する。
9	総合 (メール)	縄	なわ	常用	用例の「縄張」を「縄張り」に改める。送り仮名の付け方の通則6にも7にも例示されていない。送り仮名省略の慣用度合い低い。
9	総合 (メール)	難	かたい	常用	「有り難う」は「ありがとう」。」と示す。「おはよう」と共に重要なあいさつ語で, ウ音便の好適例。「辛うじて」「全うする」と同じ扱いに。
9	総合 (メール)	値	あたひ	常用	備考欄「⇨価」を削除。「価」の「あたひ」を削除することによる。
8	総合 (メール)	博	バク	常用	例に「博打」を追加。
8	総合 (メール)	払	フツ	常用	例に「払拭」を追加。
9	総合 (メール)	引	ひく	常用	備考欄「⇨弾く」を削除。使い分けが紛らわしくない。
9	総合 (メール)	弾	ひく	常用	備考欄「⇨弾く」を削除。使い分けが紛らわしくない。⇨引く」を削除。使い分けが紛らわしくない。
9	総合 (メール)	振	ふるう	常用	備考欄の「⇨震う」を削除する。
9	総合 (メール)	附	フ	常用	用例の「附属」を「附属学校」に差し替え, 備考欄に「「寄附」は「寄付」とも書く。」と示す。実情に合わせる。
9	総合 (メール)	奮	ふるう	常用	備考欄の「⇨震う」を削除する。
2	総合 (個人)	宮	ク	常用	語例欄が空白は分かりにくいので, 固有名詞性の強い語例であっても語例に挙げる。備考欄「宮内庁」を語例へ。
1	総合 (団体)	矢	シ	常用	「一矢」以外で使わない。備考欄に。
7	総合 (メール)	来	きたる/きたす	常用	「くる」と区別するために「来たる」「来たす」と表記する方が良い。
2	総合 (個人)	良	ら	常用	「ラ」を音とする辞典なし, 1字下げとして, 語例に「奈良県, 野良」を挙げる。
9	総合 (メール)	例	たとえる	常用	「たとえる」を「たとえば」に変更し, 用例の「例える, 例え, 例ええ」を「例ええ」のみにする。「たとえる」に「例示する」の意は認めがたく, 「たとえ」も「例, 例示」の意は認めがたい。「たとえる」については, 「譬える」がネットでは多用されているので, 「喩」にも「たとえる」は不要。
2	総合 (個人)	愛	え	常用 (追加)	橋本進吉は, 「愛 (え)」を音仮名として扱っていた。県名が主用であれば, 県名を語例に挙げるのが自然。備考欄の「愛媛県」を語例へ。
4	総合 (メール)	愛	え	常用 (追加)	特殊な音訓は, 音訓欄には載せず, 備考欄などで処理を。
5	総合 (メール)	愛	エ	常用 (追加)	「え」という読みの響きが訓ではなく, 音読みを感じさせる。
9	総合 (メール)	粹	いき	常用 (追加)	用例の「粹」を「粹だ」に差し替える。他の形容動詞の用例の扱いに合わせる。
5	総合 (メール)	児	こ	常用 (追加)	「こ」を追加としているが, 漢字の意味を考えると「こ」が妥当。
4	総合 (メール)	城	き	常用 (追加)	特殊な音訓は, 音訓欄には載せず, 備考欄などで処理を。

9	総合（メール）	中	ジュウ	常用（追加）	「ジュウ」を1字下げにし、「世界中」を削り、用例を「心中」のみにする。備考欄「「心中」は「シンジュウ」と「シンチュウ」とで意味が違う。」を削除。連濁による「ぢ→じ」「づ→ず」という仮名遣いが、現代仮名遣いで想定されていればいいだけで、用例に「世界中」を入れると「融通、神通力」や「稲妻」も用例に挙げないといけなくなる。たくさんある同表記異読み異義語（大家、大事、細々など）の中で「心中」だけが特別扱いとなる。
4	総合（メール）	分	いた	常用（追加）	特殊な音訓は、音訓欄には載せず、備考欄などで処理を。
9	総合（メール）	逝	いく/ゆく	常用（追加）	「いく」と「ゆく」の上下位置を入れ替える。「行」の並びに合わせる。ただし、「ゆく」に優位性を認めるのであれば入替え不要。
2	総合（個人）	茨	いばら	追加	名詞「いばら」に表外マークを付けないだろうから現実的判断を。語例「茨の道」を掲げ、備考欄の「茨城県」を削り、1字下げをやめる。
3	総合（個人）	茨	いばら	追加	普通名詞にも用いる音訓は注意喚起を。
8	総合（メール）	咽	イン	追加	例に「咽頭」を追加。
8	総合（メール）	淫	イン	追加	例に「淫行」を追加。
8	総合（メール）	堆	タイ	追加	例に「堆肥」を追加。
2	総合（個人）	唄	うた	追加	「歌」との使い分けがあり、「地唄」「端唄」などを造語するので、1字下げをやめる。
8	総合（メール）	唄	うた	追加	例に「地唄」を追加。
8	総合（メール）	鬱	ウツ	追加	例に「鬱憤」を追加。
2	総合（個人）	媛	ひめ	追加	県名が主用であれば、県名を語例に挙げるのが自然。備考欄の「愛媛県」を語例へ。
3	総合（個人）	媛	ひめ	追加	普通名詞にも用いる音訓は注意喚起を。
2	総合（個人）	岡	おか	追加	名詞「おか」に表外マークを付けないだろうから現実的判断を。語例「岡目八目」を掲げ、備考欄「岡山県、静岡県、福島県」を削り、1字下げをやめる。
3	総合（個人）	岡	おか	追加	普通名詞にも用いる音訓は注意喚起を。
8	総合（メール）	怨	エン	追加	例に「私怨」を追加。
8	総合（メール）	怨	オン	追加	例に「怨霊」を追加。
8	総合（メール）	賭	かける	追加	同訓異字として「掛ける、架ける、懸ける」を挙げる。
9	総合（メール）	概	ガイ	追加	用例に「梗概」を追加する。現在の用例では病名表記のための追加と受け取られてしまう。
8	総合（メール）	蓋	ガイ	追加	例に「口蓋」を追加。
8	総合（メール）	骸	ガイ	追加	例に「残骸」を追加。
8	総合（メール）	籠	ロウ	追加	例に「灯笼」を追加。
2	総合（個人）	韓	カン	追加	語例がないと使い方不明。語例に「韓国」「日韓」。
8	総合（メール）	牙	ガ	追加	例に「毒牙」を追加。
8	総合（メール）	巾	キン	追加	例に「布巾」を追加。
8	総合（メール）	稽	ケイ	追加	例に「荒唐無稽」を追加。
8	総合（メール）	拳	ケン	追加	例に「鉄拳」を追加。
8	総合（メール）	挫	ザ	追加	例に「捻挫」を追加。
2	総合（個人）	埼	さい	追加	県名が主用であれば、県名を語例に挙げるのが自然。備考欄の「埼玉県」に「埼京線」を加えて語例へ。
8	総合（メール）	椎	ツイ	追加	例に「腰椎」を追加。
8	総合（メール）	腫	シュ	追加	例に「浮腫」を追加。

9	総合 (メール)	憧	ショウ	追加	備考欄「「憧憬」は「ドウケイ」 とも。」を削除。「堪能 (タンノ ウ)」「情緒 (ジョウチョ)」「消 耗 (ショウモウ)」のような優勢 な慣用読みでないものを公認する と見識が問われる。
8	総合 (メール)	須	ス	追加	例に「急須」を追加。
8	総合 (メール)	脊	セキ	追加	例に「脊椎」を追加。
8	総合 (メール)	煎	セン	追加	例に「煎餅」を追加。
4	総合 (メール)	曾	ゾ	追加	「未曾有」だけのために「ゾ」を 認めるのではなく、備考欄とする。
2	総合 (個人)	旦	ダン	追加	「旦那」に専用されているので、 1字下げする。
8	総合 (メール)	填	テン	追加	例に「充填」を追加。
2	総合 (個人)	栃	とち	追加	名詞「とち」に表外マークを付け ないだろうから現実的判断を。語 例「栃の木」を掲げ、「備考欄の 「栃木県」を削り、1字下げをや める。
8	総合 (メール)	頓	トン	追加	例に「頓挫」を追加。
2	総合 (個人)	井	どん	追加	名詞としては独立していないが、 造語力が強く、特別な読みとも思 われない。下付きの造語成分と して拳がっている「岳」も下げて いない。
4	総合 (メール)	井	どん	追加	備考欄でいい。
4	総合 (メール)	貼	テン	追加	「貼付」の読みは「チョウフ」と 「テンプ」のどちらが一般的なの か。和英辞典では「テンプ」で項 立て。
9	総合 (メール)	貼	チョウ	追加	備考欄の「「貼付」は「テンプ」 とも。」を削除。「憧憬 (ドウケ イ)」と同じく、優勢でない慣用 読みを公認すると見識が問われ る。
8	総合 (メール)	剝	ハク	追加	例に「剝離」を追加。
8	総合 (メール)	蜂	ホウ	追加	例に「養蜂」を追加。
2	総合 (個人)	阜	フ	追加	県名が主用であれば、県名を語例 に挙げるのが自然。備考欄の「岐 阜県」を語例へ。
8	総合 (メール)	蔑	ベツ	追加	例に「侮蔑」を追加。
8	総合 (メール)	貌	ボウ	追加	例に「全貌」を追加。
8	総合 (メール)	眉	ビ	追加	例に「白眉」を追加。
8	総合 (メール)	冥	メイ	追加	例に「冥土」を追加。
8	総合 (メール)	麵	メン	追加	例に「製麵」を追加。
8	総合 (メール)	詣	ケイ	追加	例に「造詣」を追加。
9	総合 (メール)	詣	もうでる	追加	用例の「初詣で」を「初詣」に改 める。実情として「初詣」が多 く、送り仮名の付け方の通則7を 準用できる。「初詣」に助詞 「で」が付いたように見える。
8	総合 (メール)	瞭	リョウ	追加	例に「一目瞭然」を追加。
8	総合 (メール)	呂	ロ	追加	例に「語呂」を追加。
8	総合 (メール)	湧	わく	追加	同訓異字として「湧く」を挙げ る。
8	総合 (メール)	僅	キン	追加	例に「僅少」を追加。
2	総合 (個人)	餅	へい	追加	「煎餅」は、九州で「センペイ」 とも言うので、意図する読み (セ ンペイ)をはっきりとするためル ビを付す。